

ええもんはええ!

頑張っている高校
紹介します

大阪府教育委員会

こころ BOOK 2022

KOKORO BOOK 2022

こころBOOKとは？

こころBookに掲載されている学校は、令和3年度「こころの再生」府民運動@スクール表彰で表彰された学校です。頑張っている高校生の様子や取組みをみなさんに伝えることで、学校生活が豊かになることを期待しています。ぜひ、思いやりや交流につながる活動に積極的に取り組んでください！

CONTENTS

阿武野高等学校	3	佐野高等学校	7	東住吉総合高等学校	11
旭高等学校	4	枚岡樟風高等学校	8	箕面東高等学校	12
野崎高等学校	5	八尾北高等学校	9	城東工科高等学校	13
高石高等学校	6	枚方なぎさ高等学校	10	藤井寺工科高等学校	14

次の府立高校も「こころの再生」府民運動に積極的に取り組んでいます！

- 三島高等学校
- 門真なみはや高等学校
- 岬高等学校
- 勝山高等学校
- 大阪わかば高等学校

「こころの再生」府民運動とは？

大阪府・大阪府教育委員会が推進している、大切な「こころ」を見つめ直し、今日からでもできる身近な取組み（7つのアクション）を呼びかける運動です。

大切な「こころ」例えば…

5つのこころ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

7つのアクション



「あかんもんはあかん」と
はっきり **しかろう**



「ええもんはええ」と
はっきり **ほめよう**



「ユーモア」を
大切にしよう



「あいさつ」を
もっと大切にしよう



「おかげさんで」
をもっと大切にしよう



子どもの話をじっくり
聞こう



地域にどんどん
出ていこう

「こころの再生」グッズ

※のぼり・ビブスは希望のあった学校全てに配っています

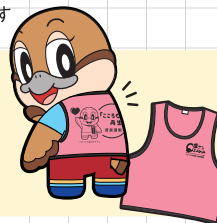
ポスター

「こころの再生」府民運動
推進月間の11月には、
駅などにも貼りだします



ビブス

ショッキングピンク!これを着れ
ば明るい気持ちになれるかも?
交差点でもめだちます



のぼり

優しいもも色
元気にあいさつをする
ことを意識してみよう



保護者の皆さまへ

7つのアクションの中の1つに「子どもの話をじっくり聞こう」とあります。子どもをはっきりと「ほめる」「しかる」ためには、まずは子どもの話をじっくり聞くことが重要です。また、子どもと「ユーモア」を共有する、「おはよう」とあいさつをする、地域と交流する、「おかげさんで」と感謝の気持ちを伝えるなど、全てのコミュニケーションに「話を聞く」ことは不可欠です。「こころの再生」府民運動では、「子どもの話をじっくり聞こう」のような、日常では忘れてしまいがちな大切なことを伝え、できることから取り組むことを呼びかけています。「こころの再生」府民運動ホームページを訪れていただき、大切な「こころ」について考えるきっかけにいただければ幸いです。

大阪出身の
日本一仲の良い
漫才師!

おぼん・こぼんさんから こころのメッセージ

お笑いへの道

～こぼんさん子ども時代の「寄席」での経験～

こぼん 子どもの時に行った寄席にはかなり影響されています。寄席で大人は笑ってるんだけど、子どもの僕には言葉の意味がよく分からない時もあったんです。それでも面白かった。こういう仕事があるんだっていう意識を持ったのが始まりかな。あるとき停電になって、真っ暗の中「今電気が消えてまんねや」ってなことを言いながら、笑いを取って場を繋ぐ。物凄い仕事やなと思ったし、憧れましたね。

おぼん・こぼんが大切に「感謝するところ」

こぼん 僕たちの場合、仕事を与えてくれた人すべてに感謝です。おぼん・こぼんをわざわざ選んでくれたんだから。それは、感謝して頑張らなきゃいけないと思いますよ。

おぼん 感謝の言葉を自然に伝えるには、毎日のあいさつが大事だと思います。俺は、まず朝起きたら「おはよう」必ずあいさつする。あいさつして返ってきたら、気持ちいいもん。近所のコミュニケーションもそうです。「おはようございます」、「こんにちは」とか、「どうも」これをやると、気持ちいいですよ。あいつが自然に出れば、「ありがとうございました」、「おかげさんで」と、感謝の言葉もずっと出てくるようになると思います。

人一倍一生懸命に努力

～不器用な努力の人、おぼんさんの話～

おぼん 人間、死ぬまで努力です。タップダンスや楽器のトロンボーンをやったりするんですけど、よく「おぼん・こぼんちゃんって器用よね」と言われるんです。でも自分自身、俺はすごく不器用なんです。俺は不器用やから、ちゃんとお金を払ってレッスンに行って、人一倍一生懸命練習して、不器用だけでもできるようになった。前にジャグリングを

教えてもらったんですが、「**不器用だから一生懸命、時間をかけて練習するでしょう。必死になってやってる人は年取ってもできますよ。だから不器用でいいんです人間。努力しましょう**」と言われたことはよく覚えています。

番組の企画で仲直り。日本一仲の良い漫才師!

おぼん 仲直りに必要なのは、やっぱり、**我を張らん**ことです。折れなきゃいけないときがあるわけですよ。あの番組で、2回ぐらいやめたらと思ったよマジで、もうやめようって。そしたら、スタッフが半べそかいて「最初は、おちゃらけでやってました。すいません。でも、何とか仲直りさせたいんです」って必死になって止めてくれるわけよ。手を差し伸べてくれる人がいる、ここまでおぼん・こぼんのことを思ってくれてんだ。漫才も好きやし、これで別れたら何もなくなってしまう。手を差し伸べてくれる人がいるのに、それじゃあかん、俺もう我を張るのやめるわ、申し訳なかった、仲直りするわ、で丸く収まったんです。**一生懸命やってたら誰かが助けてくれます**。手を差し伸べてくれます。そして我を張らんことです。

こぼん 我の張り合いですから、年だけじゃないだろうけど、掛け違えるとそのままいってしまうから。

おぼん だから孤独にならんことが、大切やと思います。誰かに相談するとかね。絶対孤独になつたらいかん。

大阪のこどもたちへ

～1つの才能を伸ばして欲しい～

こぼん 何かやりたいことを一つ決めて、**邁進してください**。一つ得意なもんがあれば、全然、生き方が違うと思うんです。将来仕事になる・ならんは別にして、絵を描くとか、字を書くとか、一つ才能を伸ばしていけば、伸ばしたものが将来頼りになる日が来ると思います。

プロフィール

こぼん (左)

- ・ 出身地 東大阪市 ・ 趣味 サックス
- ・ 高校生の時に熱中したこと
コメディをやる演劇部を自分で作りました。

おぼん (右)

- ・ 出身地 大阪市阿倍野区 ・ 趣味 トロンボーン・野球
- ・ 高校生の時に熱中したこと
野球! 甲子園めざして、真剣に打ち込んでいました。



学校紹介

大阪府立阿武野高校は、高槻市にある全日制普通科の高校で、令和4(2022)年度で創立40周年を迎えます。知的障がい生徒自立支援コースを設置し、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進しています。2年生からは、文系・理系、スポーツ専門コース、福祉・保育コースを選択することができ、多様な進路に対応しています。「つながり」「ぬくもり」を大切に、生徒が主役の阿武野高校には、「ときめき」あふれる高校生活があります。



取組み紹介



地域にどんどん 出ていこう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

地域とともに! ~朝のあいさつ運動~

生徒会とPTAの保護者が協力して、朝のあいさつ運動を行っています。正門付近に立ち、「おはようございます!」とあいさつをすると、登校する生徒からあいさつが返ってきます。あいさつと同時に「自転車気をつけて!」と通学中の交通安全の声かけも行っています。

生徒たち自ら、顔を合わす方々とあいさつを交わし、さわやかに交流することで、「周囲から応援される阿武野高校」につながっています。



あいさつは、普段なかなか話さない人ともかわせるコミュニケーションです。みんなが元気にあいさつを返してくれるのがうれしいです。

地域の一員として! ~クリーンキャンペーン~

クリーンキャンペーンも地域の方々と協力して行います。この取組みは30年以上続いています。学校周辺を4区域に分けて地域清掃を行い、自分たちの周りの環境やごみの発生についても学び、考える機会となっています。

「地域・保護者の方々とつながりを大切にし、協力して活動する」クリーンキャンペーンでの経験を通じて、生徒たちの中に「おかげさま」「ありがとう」の気持ちが芽生え、地域社会の一員としてたくましく成長しています。



みんな、積極的に取り組んでいました。町をきれいにすることで、心もきれいに、爽やかになったような気がします。



MESSAGE



校長 山下克弘

阿武野高校は、「つながり」「ぬくもり」「ときめき」を大切にした取組みを進めています。異なる他者と繋がる機会をつうじてぬくもりを感じ、ときめきをもって高校生活を過ごせるように行事・授業を用意しています。ICTを活用した授業は当たり前ですが、自立支援コースの生徒と共に過ごし、更に地域や国際交流でいろんな他者と出会える阿武野高校です!

学校紹介

大阪府立旭高校は、昭和27(1952)年に設立された第48番めの府立高等学校です。平成4(1992)年には普通科に加え国際教養科を設置しました。そして、令和3(2021)年、一層、多文化理解教育を推し進めるため、国際教養科を国際文化科とし、より魅力ある教育内容に取り組んでいます。生徒は校訓の「自主自律 協調友愛」を胸に、日々学習に取り組み、素晴らしい伝統を受け継ぎながら、自分たちの手で学校行事や部活動に新しい歴史を刻み続けています。



取り組み紹介

 「おかげさんで」をもっと大切にしよう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

生命(いのち)を守り、SDGs達成のために ～ファストファッションプログラム～

3年生の英語の授業で、ファストファッションに関する題材を扱い、SDGs達成と子どもたちの生命(いのち)を守る活動に取り組みました。

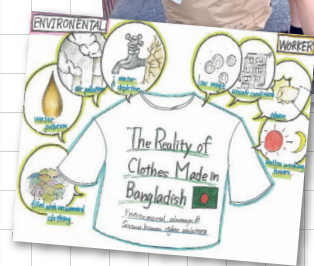
華やかなファッション業界の裏側にある開発途上国の労働問題や環境問題。英語の授業が、身近なテーマから世界へ視野を広げるきっかけとなりました。生徒たちは、ファストファッション業界にかかわる問題を解決するために自分たちにできることを調べ、話し合いました。そして、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを」を通じて古着を寄付し、開発途上国の子どもたちの命を救うポリオワクチンを届けました。

古着を集める時はたくさんの生徒が協力し、生徒全体で問題解決へ取り組むことができました。



授業で学んだことを教科書の中だけで終わらせず、自分たちにできることを考えて行動できたことに達成感を感じていますこの活動を通して、勇気を持って行動することの大切さを実感しました。

私たちの行動は小さな活動かもしれませんが、それで世界の困っている人の助けになることができ良かったですとてもいい経験になりました。



MESSAGE



校長 森田里江子

令和3年度に創立70周年を迎えました。同時に、普通科に加えてこれまでの国際教養科を国際文化科とし、次代に活躍する人間を育てています。探究活動の充実もその1つ。授業以外でもSDGsをテーマに行動を起こしたり、他国の生徒達とWebで交流したり、生徒一人ひとりが自ら考え、行動できるよう、教職員も精一杯支援していきます。

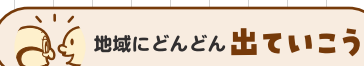
学校紹介

大阪府立野崎高校は、大東市にある全日制普通科高等学校で、昭和51年(1976年)に第100番めの府立高等学校として創立されました。令和5年度から野崎高校は、茨田高校で実践されていた「コミュニケーションコース」の教育内容を発展的に継承しさらに進化します。学校名も校地も変わらず続いています。

「生徒一人ひとりを大切にする学校」、「夢を見つけ、夢をかなえる学校」、「地域と連携し、生徒を育てる学校」として、校訓「自律・自主・創造」を体現する生徒を育てています。



取組み紹介



5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

新入生への思いやり ～生徒あいさつ運動～

「新入生に少しでも早く学校になじんでほしい!」とあいさつ運動を実施しました。部活動への勧誘を兼ねて行うなど工夫をしたことで、たくさんの参加希望がありました。3日間に分けて行い、とても活気のあるあいさつ運動となりました。



里山ボランティアでの地域貢献

地域の「だいとう森づくりクラブ」が行う竹林保全活動に、本校里山ボランティアクラブの生徒や「社会福祉」の授業を選択している生徒が参加しました。

地域の方々とふれあいながら、飯盛山の竹林伐採、伐採した竹林の運搬・整理、原木へのシイタケ種駒打ち込み、堂山古墳見学等を行い、竹林保全活動に大きく貢献しました。



長い竹を楽に持ち運ぶ方法を教えてもらいました。初めての体験、面白かったです!

みんなに「思いやり」を ～フォークソング部中庭ライブ～

コロナ禍で交流行事が延期・縮小される中、「皆にエールを送りたい!」と、周囲を思いやる気持ちから中庭ライブを行いました。バンド演奏や弾き語り、中庭より校舎1階～4階の全校生徒に向けて音楽を届け、とてもあたたかい雰囲気になりました。全校生徒による貴重なところの交流イベントとなりました。



緑の多い中庭でたくさん先生や生徒と同じ音を楽しむ体験がすごく気持ち良いです。

MESSAGE



校長 筈井博

「夢を見つけ、夢を叶える」

夢の実現に向けて努力し、自己実現すると同時に社会にも貢献する。これが理想の姿だと思います。そんな夢を見つけてください。そして、自分の夢や希望を信じ、信念を貫き、夢を追い続けましょう。誰にでもチャンスはあります。あきらめた瞬間に夢は消えてしまいます。「アセラズ クサラズ アキラメズ」野崎高校で共にチャレンジしましょう!

学校紹介

大阪府立高石高校は、進学希望者が9割に上る全日制の課程・普通科の高校です。2年生から3つのコースに分かれて、自分の進路にあった科目を勉強します。また、積極的に「異世代・異文化交流」や「地域社会との密なる連携」を展開しています。令和元年から「危機対応に長けた逞しい人物の育成」を主眼に、「自然災害に対する防災・減災教育」を推進しています。



取り組み紹介



地域にどんどん出ていこう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

安全な通学路と地域のために「ウォールペイント」の作成

高石高校の近隣には、本年度移転してきた高石市シルバー人材センターや南海愛児園などの施設があります。本校周辺の通学路を安全に保つことは、本校生徒のみならず、地域の高齢者や子ども達にとってもたいへん重要なことです。

令和3年6月、高石市シルバー人材センターと協議し、本校の通学路である王子川沿いの市道に「一旦停止」の交通安全啓発標示を入れたウォールペイントを制作することになりました。そして本校生徒会執行部と有志のメンバーで制作に取り組みしました。新型コロナウイルス感染症の拡大で夏休み中の作業が中止になるなど困難なこともありましたが、12月中旬、力作のウォールペイントが無事に完成しました。

作業中は通りがかった地域の方から「できあがっていく絵の変化を楽しみにしています」など励ましの言葉をいただき、生徒たちもより一層頑張ることができたようです。この活動を通して地域の方々との輪が広がり、明るい話題を提供することができました。



みんなが協力してくれたので素晴らしい作品ができたと思っています。高石高校の近くを通る時は、ぜひご覧ください。



制作に関わった人達みんなの熱い想いを込め、力を合わせて一生懸命に描きました。高校時代のよい思い出となりました。一度見に来てください。

MESSAGE



校長 綾井 俊行

どこまでも続く松並木、そして白い砂浜、その向こうに青い海—これが、万葉の時代から景勝の地として名高い、かつての高師の浜であり、その地に大阪府立高石高校があります。大阪府で111番めの学校として、昭和52年に開校しました。「この地」にあることで、本校生徒の「自信と誇り」が醸成され、並み居る伝統校にも負けない実績を積み上げてきています。

学校紹介

1903年、佐野村立裁縫学校として開設。「進取勤勉」等の教育綱領を持ち、まもなく創立120周年を迎えます。本校には国際文化科が併設されており、様々な国内外の人々と交流を継続的に行ってきました。さらに、総合的な探究の時間や人権ホームルームを通して世界の課題について学び、その解決に向けて取り組んでいます。学校教育全体を通して、多様性の尊重、多文化理解へと学びを繋げています。



取組み紹介



子どもの話をじっくり聞こう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

地域とともに!ESD(持続可能な開発のための教育)の実践

佐野高校はユネスコスクールです。ユネスコ部を中心にESD(持続可能な開発のための教育)に取り組んでいます。自分たちの住む地域をよりよくするために、地域の方とのつながりを増やし、たくさんの人に知ってもらうことが大切だと考え、「Enjoyりんくう」(子どもに夢を届け、観光の発展をテーマにしている活動)への参加と子ども食堂でのボランティアに取り組みました。

ユネスコ部で行っているフードロス削減のための野菜栽培では、誰かが食べてくれるところを想像しながら育てているのでやりがいがあります。自分たちの作物が成長するのを見るととても達成感があります。



～花火大会の成功のために海岸清掃、ボランティア～

「Enjoyりんくう」の取組みの1つに、毎年マーブルビーチで行う花火大会があります。花火大会にたくさんの人に来て欲しいという思いを胸に、毎月1回、地域の方と一緒に海岸清掃を行っています。花火大会の実行委員には本校卒業生も参加しており、花火大会当日には本校生徒も運営のボランティアを行いました。

マーブルビーチにも多くのプラスチックゴミが落ちていました。自分が拾うゴミは少しかもしれないけれど、海岸がキレイになっている気がしてすごく嬉しかったです。これからもっと海岸をキレイにしたいです。



～子ども食堂でのボランティア～

人とのつながりを増やしたいと思い、子ども食堂でのボランティアも始めました。子ども食堂へ週3回ボランティアに行き、子どもたちと一緒に宿題をしたり、遊んだり、交流しています。毎月1回土曜日には、子ども食堂で育てている野菜のお世話を、子どもたちと一緒に行います。

クリスマスには子ども食堂でクリスマス会が開かれました。みんなでドッジボールやトランプをして遊んだり、夜ご飯やデザートと一緒に食べたり、スタッフさんのお手伝いをし、とても楽しかったです。



MESSAGE



校長 南部 潔

本校では生徒たちが勉強、学校行事、そして部活動など何事にも前向きに精一杯取り組みます。また、地域の団体や施設、あるいは海外などとも積極的に交流して人とのつながりを大切にしながネットワークを広げています。佐野高校では高校生活を送る中での様々なことを経験することができます。そのような活動を通して、自ら考え行動する力を育んでいくのです。

学校紹介

大阪府立枚岡樟風高校は、東大阪市の生駒山のふもとにある総合学科の高校です。「文理」「地域文化」「福祉・保育」「スポーツ健康科学」「情報」「工業デザイン」「農と自然」の7つの系列があり、将来の目標にあった学びができるという特徴があります。何より、「新しい可能性への出会い」があり、他の学校にないようなカリキュラムで自分を発見できる活気に満ちあふれた学校です。



取組み紹介

 「あいさつ」をもっと大切にしよう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

生徒会も先生たちも、 みんなで取り組む「あいさつ運動」

本校の生徒指導部では、様々な強化週間を実施しています。例えば服装授業規律徹底週間や、遅刻撲滅週間などがありますが、年に2回の「あいさつ週間」では生徒の元気なあいさつで学校が活気づきます。先生も全員体制で校内各所に立ち、生徒にあいさつを届け、学校全体が1つになる取組みです。

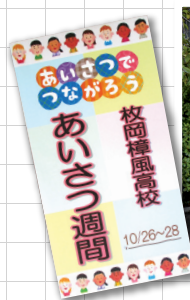
学校行事前に「あいさつ週間」を実施することで、学校行事の盛り上がりにもつながっています。体育祭前には生徒会執行部・応援団の団長・副団長、文化祭前には生徒会執行部・有志の生徒が主体的にあいさつ運動を盛り上げます。

体育祭前のあいさつ運動では、他の団に負けないように声を出す、という盛り上がりポイントもあり、本番に向けて、元気なあいさつを届けていました。

このあいさつ運動を生徒が推進することで、温かい雰囲気の中で、多くの生徒が自発的に、服装のルールを守ろう、授業をしっかりと受けようとするようになりました。



朝からしっかり「あいさつ」することで、気持ちよく1日をスタートすることができます。



「おはようございます」「おはよう」先輩も後輩も、先生もみんなこの言葉でつながっています。



「あいさつ週間」以外にも、毎週1回、朝に生徒会で「あいさつ運動」をしています。



MESSAGE



校長 西田 悟

枚岡樟風高校では、「自分の新しい可能性との出会い」を合言葉に、日々活発に学んでいます。中でも朝のあいさつは、「一日の始まり! 元気いっぱい心を込めて!」をモットーに気持ちよくできるようにしています。一人ひとりが積極的で元気なあいさつから始まる素敵な一日を過ごし、人に優しく、温かくなれるようころから願っています。

学校紹介

総合学科である八尾北高校では、多様な選択科目から生徒の興味・関心や進路に合わせて選択した授業と探究学習により、一人ひとりの能力を引き出し、希望する進路の実現に向けてサポートしています。体育祭・文化祭等の学校行事では、生徒が主体となって運営し、クラブ活動も盛んで、充実した学校生活を送ることができます。また、外国にルーツのある生徒も共に学び、異文化を理解し、多様な価値観を認め、共生社会の実現をめざす学校です。



取組み紹介



「ユーモア」を大切にしよう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

YKGs ～青春のロスをなくそう～

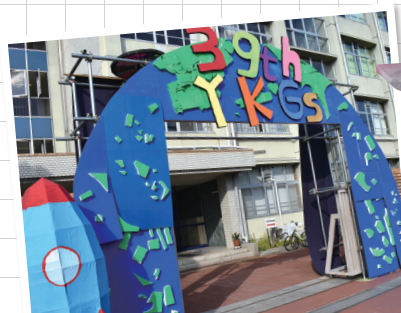
「持続可能な世界を築くためには、何をしたらいいのか」高校生の今からSDGsを意識し「どのように目標達成に貢献できるか」を考えて欲しい。八尾北高校ではそう考えています。

令和3年度の文化祭のテーマを生徒会執行部が、八尾北高校のYKと絡めて「YKGs～青春のロスをなくそう～」に決めました。文化祭では、SDGs17の目標を体育館に装飾して啓発活動を行いました。校内スタンプラリーの最後には、巨大ガチャを作成し、家庭から集めたりサイクル品を景品として提供しました。

文化祭以外でも、学校周辺のクリーンアップ活動からゴミの問題への気づき、4Rへの取組みにつながりました。また、朝のあいさつ運動やクリーンアップ活動中に地域の方とのかわりが生まれ、思いやりやマナーの向上にもつながることができました。



学校や地域をきれいに保ちたいと強く思うことができました。また、クラブ員と協力して学校や校外を掃除したことで、各クラブ同士の交流ができました。



コロナによる制限がたくさんあった中、逆に「今できること」と「実現させたいこと」をマッチさせて取り組む楽しさを見出しました！！



MESSAGE



校長 岡本泰弘

八尾北高校には、外国にルーツがある生徒などさまざまな生徒が在籍しています。そして、卒業後はそれぞれの進路に進みます。そのため、個々の生徒の進路実現に向けた多くの選択科目を設けています。生徒は興味・関心、進路に必要な授業を選択して「自分だけの時間割」を作ります。八尾北高校は、皆さんの将来の夢をかなえるため全力でサポートしてゆきます。

学校紹介

小さな努力を積み重ねる生徒たちを頑固に応援する学校、それが枚方なぎさ高校です。知的探求、国際文化、芸術表現、生活看護、地域創造と、将来の進路を見通した5つの系列をもつ「総合学科」の学校です。令和4年4月に総合学科4期生を迎えます。様々な領域で「進学をめざす」部活動が盛んな総合学科高校として進化・発展し続けたいと考えています。自ら将来設計図を意欲的に描く人材を育てる学校でありたいとの願いを持って日々努めています。



取組み紹介



「あいさつ」をもっと大切にしよう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

小学生の登校見守りとあいさつ運動

枚方なぎさ高校の通用門前道路、府道13号線は、交通量が多く安全を確保するために注意が必要なポイントです。近隣の小・中学生の多くは、交差点と車道から距離をとるために迂回し、本校通用門前うかいを通して登校します。

みんなが通る通用門前を地域のつながる場にするために、本校生徒、教職員と一緒に通用門前に並び、登校引率の地域の見守り隊の方々とともにあいさつ運動を行っています。学校を超えたふれあいの場となり、小・中・高校生それぞれの元気なあいさつの声が聞こえてきます。

また小学生の登校時には、車道の自転車レーンを走る、歩道に乗り入れる場合は自転車を降りて押す、というマナーの浸透しんとうをはかることや、教職員が校外に立つことにより、事故が起こりにくい環境づくりに地域・学校が一体となって取り組んでいます。

本校生徒には、混雑時や小学生の登校時にはすすんで自転車から降りて歩くなど、周囲への思いやりのところが芽生えています。またあいさつを通じ、友人や地域の方々に見守られている安心感や他者とのつながりを感じ、自分からあいさつをする生徒が増えています。



あいさつはコミュニケーションの第一歩。小・中学生や地域の方々とあいさつを通じたコミュニケーションに、人と人が触れ合う「温かさ」を感じます。「今日もがんばるぞ!」と、自分の気持ちを前向きにしてくれます。

早朝、通用門前を通学する小学生とあいさつを交わすことから、晴れやかな気持ちで枚方なぎさ生としての一日が始まります。「おはようございます」と応えてくれる素情に、改めてあいさつすることの大切さに気づかされます。



MESSAGE



校長 浅田和也

部活動について、年を追うごとに加入率が増えており、学習活動を含めた高校生活全体を充実させたいという生徒たちの意識の変化がうかがえます。昨日までの自分を乗り越えて今日の自分をつくる、今日の自分をステップに明日へと挑戦するまっすぐな姿勢から、常に高みをめざして突き進む本校の生徒たちを誇らしく思います。「学校は学びの場」、大切にしたい言葉です。

学校紹介

大阪府立東住吉総合高校は、昭和38年に創設された東住吉工業高校を前身に持ち、創設以来の伝統を積み重ね現在に至っています。平成24年度より全日制総合学科となり、幅広く学べる学校になりました。生徒は6つの系列の中から自分に合うものを選択し、「探そう 東総（ひがそう） 明日の自分!」をスローガンに多様な進路実現に向けて取り組んでいます。



取組み紹介



地域にどんどん 出ていこう

5つのところ

いのち 生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

地域密着プロジェクト 産業交流フェアで万華鏡づくり

東住吉総合高校の生徒が産業交流フェア（東住吉区、平野区における「ものづくり」をテーマとした企業・学校・地域住民との交流の場）に参加し、「万華鏡づくり」を行いました。幅広い年齢の方たちと交流を深め、他者にわかりやすく説明することで、本校のめざす生徒像にいっそう近づけました。



「お年寄りから小さな
お子さんまでいて、年齢
に差がある方たちと
多く触れ合うことがで
きたので、とても新鮮
で楽しかったです」

小学校のサマーキャンプに参加!

近隣の喜連西小学校のサマーキャンプに参加し、小学生に「紙コップけん玉づくり」を指導しました。生徒たちは児童との交流を楽しみ、優しく、わかりやすく作り方を教えていました。皆、童心にかえり、とてもいい表情がうかがえました。小学生との交流体験で、新たな気づきを実感していました。



地域公開講座でのマカロニクリスマスリースづくり

平野区を中心とする地域の方を対象に「マカロニクリスマスリース」づくりを行いました。スプレーで着色したリボンや貝殻の形をしたマカロニを、段ボールで作った円形の台紙にボンドで貼り付け作成していくと、きれいなクリスマスリースが仕上がります。それぞれの個性が出た作品ができ、とても楽しめました。小さなお子さんやご高齢の方と触れ合った生徒たちはいきいきしていました。



「みなさんとても年層がよく、できた作品のどれもが
一つひとつ違う個性を持っている。こちらも驚きと
楽しみを持ってこのイベントを終えられました」

MESSAGE



校長 北村 洋介

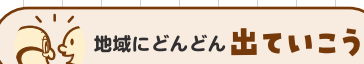
本校の愛称は東総（ひがそう）といいます。東総の生徒は学校行事など人とののかかわりが大好きです。上記の取組みにもボランティアとして積極的に多数参加してくれています。異年齢の人たちとの交流で自分の幅をさらに広げている東総生の魅力は「優しさ」と「思いやり」です。よりよい社会を切り拓いていくために価値観の異なる多様な他者と調整できる生徒を育てます。

学校紹介

大阪府立箕面東高校はエンパワメントスクールという、新しいタイプの学校です。エンパワメントとは、一人ひとりが本来持っている素晴らしい力を引き出すという意味です。本校では、分かりやすい授業を徹底しており、生徒は基礎基本から確実に学力を伸ばし、希望する進路を実現しています。また、地域社会や企業と連携した体験型の選択科目が多く、豊かな体験の中で興味・関心を広げています。



取組み紹介



5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

子育て応援プロジェクト

箕面東高校には、デュアルシステムという授業があります。この授業では、毎週火曜日に企業などでインターンシップを行い、毎週金曜日には様々な世界で活躍しているゲストスピーカーを招き講演をいただいています。

今年は、コロナの影響でなかなか学校外での実習ができませんでした。そこで、「できない中で、できることを考えよう」というねらいのもと、「子育て応援プロジェクト」に取り組みました。この取組みは、現在子育てをされていて悩んだり、孤独を感じたり、苦しい思いをしている方々に、ほかの保護者も同じように悩んだり工夫をしながら子育てと向き合っている（向き合ってきた）ことを知ってもらい、明日からの力になればという思いで始めました。

また、子育ての助けになる冊子を作るという目標達成のため、子育て世代の方々に街中や公園でインタビューを実施し、子育ての悩みや不安について聞き取りを行いました。インタビューする項目については、事前に大阪青山大学の戸松玲子教授の講演で、子育て世代の方が抱える問題や虐待の問題のことを勉強してから考えました。

完成した冊子は地域の施設などで配布され、生徒たちは社会貢献ができた実感することができました。



子育て世代が何を必要とし、何に悩んでいるのか伝えるためにも、わかりやすい冊子をつくりたいと思いました。

▼作成した冊子の表紙



冊子をたくさんの方の手にとってもらい、課題解決の助けになれば嬉しいです!

◀みのひがキャラクター:
あずまくん



実際に子育てをしている人たちだからその本音や夜泣き対策などを聞けて、インタビュー前より子育てについて深く知れました。お父さんやお母さんの大変さを知れました。

MESSAGE



校長 尾形政則

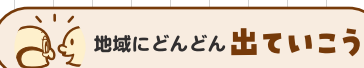
分かりやすい授業、豊かな体験、安心できる学校生活が本校のモットーです。大阪トップレベルのトレーニング室を備えるなど、部活動にも力を入れています。すべての生徒が元氣よく登校し、目を輝かせて授業を受け、「ゆめ」を語り合える学校をめざしています。

学校紹介

大阪府立城東工科高校はものづくりの街、東大阪にある昭和3年創立の伝統ある工業の専門高校です。卒業生は産業界を担う人材として幅広く活躍しています。設置系は、機械系、電気系、メカトロニクス系の3系があります。東大阪市という立地を生かし、地元優良企業との地域連携により生徒たちがグループで自ら考え習得した技術を生かしたものづくりを体験するPBL（課題解決学習）やSDGsへの取り組み、府立工科高校初のユネスコスクール登録へチャレンジしています。



取り組み紹介



5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

工科高校ならではの!

フリースクールで中学生の「自由研究」をサポート

城東工科高校では、SDGsを意識した取り組みを行っています。地域企業と本校生徒が協働し、地域企業の課題解決を検討する「大東市企業連携事業」や1年次の授業では「キャリア・ガイダンス」でSDGsのカードゲームを製作するなど様々な取り組みを行っています。

令和3年度は、生徒会を中心に校内でSDGs委員会を新たに組織し活動をスタートしました。活動は「貧困をなくそう」をテーマのもと、夏休みに「フリースクール」を計画・実施しました。実施に先立って、近隣の小中学校に生徒会の生徒と担当教員が訪問、協力依頼し、小中学校の立場からの意見を伺いました。その結果、近隣中学校3校と連携し、工科高校の特色を生かして「自由研究」のサポートを行いました。

参加した生徒は、本活動の企画・運営、関係者との調整など様々な経験をすることができ、最終的には「成功した!」という達成感と充実感を味わいました。また中学生との交流から、人に教えることの楽しさ、難しさ、人から感謝されることの喜びを実感しました。



MESSAGE

私自身、最初は、ものすごく緊張していましたが、中学生が楽しんでいる様子を見てリラックスすることができました。楽しんでくれたことが何よりも嬉しかったです。



城東工科高校は就職率100%の学校です。部活動も盛んで、大阪府立実業高等学校総合体育大会ではバレーボールの部で2連覇し、私は副主将として貢献することができました。

バレー部以外の部活動も強く、城工全体で総合優勝を2年連続で達成しました。



校長 麻野克己

“城工”は、普通科目で幅広い教養を学び、専門的な工業技術を学んで社会を支える「ものづくりマインド」あふれる人材を育成します。地域でものづくり教室を開催したり、模擬会社「城工房」でおもちゃ修理やオリジナル商品を開発したりするなど、生徒の「やってみたい!やってみよう!」を応援しています。資格取得や生徒会・部活動も活発に取り組んでいます。

学校紹介

本校では、創造性豊かな「ものづくり」ができ、「知・徳・体・技」の調和のとれた人材育成をめざして、府民に信頼され、地域に根ざした教育を行っています。機械、電気、メカトロニクスの3系を持ち、専門科目では、これからの時代に必要なテクノロジーの1つである、ロボットやドローンなどを自動制御するための知識や技術を学ぶことができます。また資格取得にも力を入れており、電気工事士や技能検定(国家検定制度)といった実用性の高い様々な資格に多くの生徒が挑戦しています。令和4(2022)年度から制服も一新します。



取組み紹介



子どもの話をじっくり聞こう

5つのところ

いのち
生命を大切にする

思いやる

感謝する

努力する

ルールやマナーを守る

ドローン×ビジュアルプログラミング

藤井寺工科高校では、ふじねっと(藤井寺市内の小学校や中学校との連携)や地域の中学校への出前授業(松原市・羽曳野市・藤井寺市・八尾市)にて、小・中学生とドローンを活用した交流を行っています。

交流では、生徒自らが小・中学生にプログラミングやドローン飛行についてレクチャーをします。レクチャーでは小・中学生でも簡単にドローンをコントロールできるようにiPadを用いたブロックタイプのプログラムを使用することで、より楽しい取組みを行うことができます。

このように地域の小学校や中学校と交流することで、高校生に素直な「思いやり」が芽生えています。子どもたちに丁寧^{ていねい}に教える、寄り添う体験を通して感謝される喜びを実感しています。



ドローンの操作やプログラミングを学び、その知識・技能を小・中学生に伝えるという経験は中々できることではないし、やっていてすごく楽しい!



藤工あいさつ運動

生徒会のメンバーを中心に定期的に朝のあいさつ運動を行っています。「おはようございます」や「ありがとう」などのあいさつをかわすことでコミュニケーションを深めるきっかけになっています。登校してくる生徒を観察することで変化にも気づくことができ、思いやりをもって声をかけることもできます。



早起きするのは大変だけど、「おはようございます!」と大きな声であいさつをして仲間から分かってきたら、すごく良い気持ちになります!



MESSAGE



校長 雑賀文彦

本校は先端機器を活用し、生徒が主体的にものづくりの楽しさや魅力を地域連携や出前授業などを通じて発信しています。そうした取組みにより「思いやり」や「寄り添う気持ち」を持った職業人を育成しています。社会で必要な本物の「チカラ」を全力でサポートしています。



© 2014 大阪府もずやん

こころの再生

Q 検索

スマホはこちらから
アクセスできます▶



 大阪府・大阪府教育委員会

「こころの再生」府民運動・企画運営委員会事務局
(大阪府教育庁教育総務企画課広報・議事グループ)

TEL 06-6941-0351 (内線 5469)